



上ノ原まちづくりの会

(地区協議会)

令和3年(2021年)3月 第33号

連絡先 調布市協働推進課

042-481-7036

一コロナ禍のなか、地域の方々の「ふれあい」と
よりよい「まちづくり」に向けて一

会長 吉見 政子

1年前にはウイルス感染、緊急事態宣言という言葉が普通に使われるなど、思ってもみませんでした。卒業式も入学式も例年とは違った形となり、「誰と同じ組か分かんない」と言っていた子も、今では立派な1年生の顔となっています。



ろう梅がうす黄の花を見せ、^{ほけ}木瓜の蕾がふくらみ、よく見れば校庭の桜も蕾が心なしかふくらんでいます。どんなことがあってもまた新しい季節がゆっくりやってくるのだとしみじみ思います。

「上ノ原まちづくりの会」も令和2年度の定期総会は、2004年設立以来初めて書面による議案審議のうえ承認決議となりました。活動報告及び決算報告、令和2年度の活動方針案、予算案もすべて承認され新しい一歩を踏み出しました。

しかし、コロナ感染拡大に伴い、残念ながらコンサートや防災訓練などほとんどのイベントを止む無く中止とさせて頂きました。

その様な中で細心の注意をはらい、パトロールや旗振りの皆様が子供たちの登下校や地域を見守って下さっています。コロナ感染拡大といっても不審者がいなくなるわけもなく、本当にボランティアの皆様へ感謝です。

また当会は大事な活動の一つとして、各学校と情報交換の場(三校連絡会)を持ち、地域の情報の共有を図っております。地域活動には学校の協力が無いと成り立たないわけですが、地域の中でもっと学校が身近に感じられる様になればとの思いもあります。

現在、校区内では其処ここで整地をする音が響き、また多くの新しい住民の方々が増えそうです。住んで良かった! の声が聴けますように、一步一步進んでゆきたいと思っています。

ふれあい交流部(令和2年度今までの状況)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染の拡大による2度にわたる緊急事態宣言のため、ほとんど活動ができない状況でした。毎年6月に開催してきた当部のメイン事業である「ふれあいコンサート」(昨年度まで15回開催)や、北部公民館との共催事業として年2回実施してきた北の杜講座(盆踊りの踊りの講習、上ノ原地域関連情報講習)、ボランティア交流会は、全て実施できませんでした。



唯一、参加できた活動が、北部公民館で開催された地域文化祭(10月31日~11月8日)でした。この北部地域文化祭も新型コロナウイルス感染の拡大の影響を受け、例年とは大きく内容が変わりました。まちづくりの会も展示「上ノ原地域の紹介・まちづくりの会の活動紹介」は期間を通して例年通り実施できましたが、サシェ(ラベンダー匂い袋)の作成体験は、例年2~3日実施してきましたが、今年は1日(11月3日)だけの実施で、内容もその場での作成ではなく、袋に入れた作成キットと作成説明書を持ち帰っていただきご自宅で作成していただく形になりました。例年200人程が楽しめますが、今年は70袋の配布となりました。毎年、子供会や健全育成推進上ノ原地区委員会と共同で実施してきた、こども対象のお楽しみ会も出来ませんでした。



ふれあい交流部は、昨年度までは、地域の方々に交流を深めていただき、ふれあいのある楽しい住み良いまちとなるように活動をしてまいりました。昨年2月からの新型コロナウイルス感染の拡大により社会状況が大きく変わってしまいました。社会生活スタイルも大きく変わりました。新型コロナウイルス感染の拡大状況の先行きが全く見通せない状況の中、やはり地域住民のふれあい交流は必要不可欠なものと思います。新しい社会生活の中で、「ふれあい交流部」がどのような活動を目指し進めていけば良いのか、暗中模索を続けています。



ふれあい交流部部長 遠藤 弘行



*11月3日(火)北部地域文化祭イベント(サシェラベンダー匂い袋配布)時の皆様からのご寄付を調布市社会福祉協議会へ社会福祉事業のために寄付(1,774円)いたしました。 事務局

安全な自転車通学を！パンフを配布

令和2年度は、新型コロナ感染症拡大の影響で毎年柴崎公園で行われてきた「自転車交通安全講習会」も中止になり、神代中学校、晃華学園中学校に入学した新1年生は講習を受ける機会がありませんでした。

そこで上ノ原まちづくりの会では9月4日、調布警察署の協力で「自転車の正しい乗り方」のパンフレットを、両校の自転車通学の1年生に70部ずつお配りしました。2学期も始まっていましたが、改めて自転車通学のマナーを再確認するようアピールしました。

神代中学校の高橋剛三校長先生によると、大きな事故は起きていないものの小さな接触事故は複数起きている、とのことで自転車通学の安全対策には神経を使っている様子が見えがえしました。



残念！「ぼうさい展示会」も中止に

毎年11月に実施してきた上ノ原の防災訓練は、新型コロナの大波を受け、いつものように小学校の校庭や体育館を借りて行うことは不可能になりました。しかし、何も無しにはできないという強い意思のもと、「静かな展示会方式ならいいのでは」と考え、11月29日（日）に上ノ原ふれあいの家で実施する計画を立てました。

内容は「その時家具が凶器になる」という大地震のDVD上映会を中心に、各種パネルや写真の展示、非常食のアイデア紹介などを順番に見学するだけの企画で、一部地域にはチラシも配布しました。

ところが10、11月と徐々に感染者が増加し、状況がまた厳しくなってきました。結局、リハーサルにまでこぎつけたものの「中止」という決断になりました。

このイベントのため用意した参加賞の一部（非常食の切り干し大根とさば缶）は、調布市のフードドライブ（注）に寄付いたしました。

（注）いただき物や買い過ぎなど余分な食品を市内の福祉施設や子ども食堂などに提供する仕組み。

防犯・防災・交通安全部部長 長原 碩之



安心・安全パトロール協力者募集中

「上ノ原まちづくりの会」のパトロール活動を地域の皆さんといっしょにしませんか。ご連絡お待ちしております。

連絡先 長原碩之（携帯 090-6547-9237）



環境美化コロナ禍での美化大作戦

令和2年の上ノ原地域美化大作戦はコロナ禍にあっていつものように行えませんでした。

苦肉の策が10月17日から18日の二日間に設定して、地域の皆様の都合の良い時間に自宅付近や近所の公園を清掃するというものでした。

17日は一日中冷たい雨が降り続きました。翌18日は太陽が顔を出し、天気が良く、きっと地域の皆様もご自宅周りをお掃除されたことでしょう。

私も主人をさそって自宅周りや近所の公園、道路を掃除しました。その間、ご近所の皆様も清掃されていました。わが地域の素晴らしさを再確認いたしました。

次年度はコロナに打ち勝ち、いつもの様に美化大作戦を始め、地域の諸行事が開催されることを祈っています。地域の皆様いつもありがとうございます。



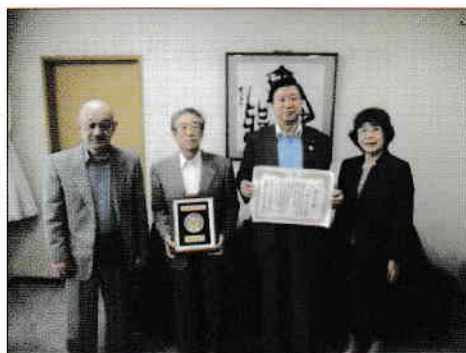
環境美化部部长 明瀬 喜久代

令和2年度地域安全活動功労団体として表彰されました

昨年9月24日明治記念館にて全国地域安全運動中央大会が開催され、当会が昨年に引き続き「地域安全活動功労団体」として警察庁長官より賞状と盾を頂きました。全国対象の表彰で、東京からは当会を含め2団体でした。

市長、調布警察署長にも報告、その中で市長表敬訪問は、市報「ちょうふ」令和2年(2020)10月20日号に「まちの話題」として掲載されました。

これも旗振りや、パトロール等地域のボランティアの皆様をはじめ、活動を支援して下さっている方々のおかげと感謝しております。



令和二年(2021)度
上ノ原まちづくりの会
役員及び運営委員

会長 吉見 政子

副会長 明瀬 喜久代

長原 碩之

遠藤 弘行

三宅 栄治

事務局長 藤井 有美

委員 池 誠

生田 久美子

大木 智恵子

太田 美佳

大谷 浩彦

大森 理恵

○ 鴨志田 佳子

河端 毅

河輪 美智子

○ 瀨 昌雄

○ 柴垣 涼子

○ 高橋 千代司

中里 繁夫

中山 清輝

羽鳥 剛

三浦 詩子

南 和彦

吉田 ハル工

会計監査 堀田 邦子

山田 重幸

○は本年度新任
以上